

令和5年9月27日

市政記者各位

福岡市美術館

コレクション展（古美術）「^{うつがわ}幻の古陶・現川焼—田中丸コレクションを中心に」、**「仙厓展」**、「海を越えた交流—墨蹟を中心に」を開催

福岡市美術館では、コレクション展示室（古美術）にて「幻の古陶・現川焼—田中丸コレクションを中心に」、「仙厓展」、「海を越えた交流—墨蹟を中心に」を開催致します。つきましては、広報にご協力いただきたく、よろしくお願いいたします。

コレクション展
（古美術）

幻の古陶・現川焼—田中丸コレクションを中心に

現在の長崎市現川町で17世紀末から18世紀前期にかけて焼かれた現川焼は、短い活動期間にあって華やかで個性的な意匠のやきものを創出しました。田中丸コレクションに当館所蔵品を加え、現川焼の名品を展観します。

会 期	令和5年10月25日（水）～12月17日（日）
会 場	1階コレクション展示室 古美術企画展示室



《現川刷毛地色絵抱銀杏文輪花皿》
江戸時代17～18世紀
田中丸コレクション

コレクション展
（古美術）

仙厓展

仙厓義梵は博多・聖福寺の住持を務めた江戸時代の禅僧です。親しみやすい書画で人気を博し「博多の仙厓さん」と呼ばれて慕われました。本展では、仙厓さんの作品をご紹介します。

会 期	令和5年10月25日（水）～12月17日（日）
会 場	1階コレクション展示室 古美術企画展示室



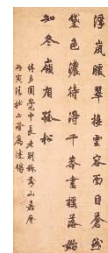
仙厓義梵《犬図》
江戸時代 19世紀

コレクション展
（古美術）

海を越えた交流—墨蹟を中心に

古来、多くの禅僧が海を越えて日本と中国を往来しました。彼らの書跡は墨蹟と呼ばれ、特に茶の湯の世界で珍重されました。墨蹟を中心に、日中の交流を物語る文物をご紹介します。

会 期	令和5年10月31日（火）～1月14日（日）
会 場	1階コレクション展示室 松永記念館室



清拙正澄《墨蹟（与元中別称偈）》
（重要文化財）
鎌倉時代 嘉暦元年（1326）
※半期展示

共通	開館時間	午前9時30分～午後5時30分 10月27日（金）、28（土）は午前9時30分～午後8時 ※入館は閉館の30分前まで
	休館日	毎週月曜日、12月28日（木）～1月4日（木） ※月曜日が祝日・振替休日の場合はその後の最初の平日
	観覧料	一般200円、高大生150円、中学生以下無料

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館学芸課（担当：後藤、宮田）
TEL:092-714-6051